

活動報告

2025. 9 . 19 (金)

<活動内容>水風船

<準備品>水、水風船、たらい

<活動の流れ>

子どもたちの前で水風船を膨らませ見せる。その後、水の入っている水風船と入っていない風船を提供し、ふたつの風船の感触に触れる

<子どもの声>

「プニプニしてる」と感触を友だちや保育者に伝える姿がある。

また、たらいに水を入れ保育者が風船を高い位置から落とすと、

二つの水しぶきの差を感じる子どもの姿がある。「こっち(水の入っていない方は)お水跳ねないね」と不思議そうにしていた。

<振り返り>

始めは水風船の感触を楽しみ、手で触るだけでなく腕や足で触り感覚の違いを確かめていた。以前スコップ等で水を高い位置から流し水しぶきの変化を楽しんでいた様子があったため、ただ触るだけでなく重さの異なる風船でも行った。感触の変化に気付いただけでなく、「軽いから水しぶきが少ない」「重いと水しぶきが大きい」など2歳児には少し難しい内容ではあったが、保育者が「水しぶき大きいね」「小さいね」など言葉で伝えることが出来た。

